

# しめ縄とそば打ち講習会

高麗分館

大山公民館高麗分館では、12月19日・20日に恒例となっているしめ縄講習会とそば打ち講習会を行いました。

19日のしめ縄講習会は、有志の方からいただいたもちわらを叩いてやわらかくするところから始めました。

講師の指導にしたがって、うのですが、思うようにいきません。「これ、どげすーだ」などわいわい言っているうちにようやくできあがり、次回はもつと立派なしめ縄にしたいと決意を新たにしました。

20日はそば打ち講習会を行いました。講師から手順を聞いてまずは水回し。「もつと細くなるまで」「もう一回水を足して」など手取り足取りの指導で練りあがり、次は延しにかかります。「もつと薄く」「きゅー破れた」。激励や手助けを受けて最後はそば切りの工程へ。「そばを切っても手は切るな」の教えを守り、なんとか形になりました。



▲延しの始めは初めはへそ出しから(そば打ち)



▲「こうやって手をすりあわせて」(しめ縄)

先に講師の先生が打ったそばを試食し、「おいしい」の歓声があがりました。自分の打ったそばは、家族へのお土産に持ち帰りました。参加者の皆さんのそばもきつとおいしかったことでしょう。

## まちのたから (11)

文化財室通信

### 赤松荒神祭の巻

今回は、かつて大山寺領であった赤松集落で、江戸時代初期から行われている赤松荒神祭を紹介します。

承応3年(1654)に大干ばつに見舞われた赤松集落が、氏神様のご神託を受けたところ「五穀豊穡と村の繁栄を祈って大蛇を奉納せよ」とお告げがあり、各戸がわらを持ち寄って大蛇を作り、日吉神社に奉納したのがはじまりです。それ以後、閏年(うらう)に奉納されるようになりました。

現在は、地区住民が赤松体育館にわらを持ち寄り、大蛇を2日ばかりで製作しておられます。大蛇は全長25mの巨大なもので、頭には集落戸数分の御幣を立てます。日吉神社宮司が入魂した後、住民総出で大蛇を担いで集落内を練り歩きます。大蛇の男根部分は、前回の閏年以後に入り婿した男性が子孫繁栄と将来の幸福の為に担ぐならわしで、

赤松の珍しい特徴です。

県西部に分布する荒神祭の特徴と独自の特徴をもつことから、平成25年に県指定無形民俗文化財となりました。(人権・社会教育課文化財室)



県指定後初めての荒神祭を見学しませんか

### 大山学講座 「赤松荒神祭をたずねて」

特別編!

- ◆日時 3月6日(日) 11時~16時  
11時~: 荒神祭についての講演  
12時~: 昼食(大山おこわ・大山かおりそば)  
12時40分~: 赤松へ移動(マイクロバス)  
13時: 荒神祭見学
- ◆集合場所 大山農村環境改善センター(大山町今在家)
- ◆講師 鳥取県教育委員会文化財課  
原島知子文化財主事(民俗文化財担当)
- ◆申込締切 2月25日(木)【先着25人】  
定員になり次第締め切ります。
- ◆参加費 800円(昼食代込)
- ◆その他 雨天決行です。  
各自で雨具の用意や防寒対策をお願いします。
- ◆申込み・問い合わせ先  
大山公民館(入江) ☎0859-53-3003